（別紙３）

児童発達支援　事業所における自己評価総括表

公表

○事業所名	クオリティオブライフ高槻支援教室			
○保護者評価実施期間	2025/9/8	～	2025/9/27	
○保護者評価有効回答数	（対象者数）	17	（回答者数）	10
○従業者評価実施期間	2025/9/8	～	2024/9/27	
○従業者評価有効回答数	（対象者数）	6	（回答者数）	6
○事業者向け自己評価表作成日	2025/9/29			

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	利用者様が安心して楽しんでくれていること	様々な活動場所と内容を提供することでできる限り飽きないようなサービスを考えている。	室内での活動の幅を広げたり、今までにできなかった活動を取り入れたい。
2	保護者への丁寧な説明や案内	利用時の様子や出来事を送迎時にお伝えしているようにしている。送迎時にお伝え出来ない場合はLINEにてお伝えしている。モニタリングは可能な限り2人のスタッフを配置して様々な目線で利用時の様子を伝えている。	モニタリング以外にも個別で話をできる機会や保護者説明会等は継続して行なっていきたい。
3	集団でのメイン活動に参加できない場合の対応	苦手なものや集団で行うメインの活動に参加できない場合は、できる範囲で個別で対応している。できる限りメイン活動と同じことを促すようにしている。（他利用者様と一緒にサッカーできない場合は個別でパスをする等）	集団活動に入れるような活動内容を提供できるようスタッフで意見を出し合いながら工夫したい。

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	個人スペースの確保	事業所のスペースが活動スペースとスタッフルームのみの間取りになっているため。	パーソナルスペースの確保をするためのパーテンションを使用する等を検討する。ただし、パーテンションそのものを倒してしまう等の二次的な被害を避ける工夫も必要になるので、慎重に検討する。
2	当日のサービスの振り返りの時間確保	送迎に行くスタッフが多いこと、帰ってくる頃には退勤時間ギリギリになることが多いこと等で、サービス提供時間後になかなかゆっくり話し合いをする時間を設けることができない。	送迎に行かないスタッフが複数名いたらそのスタッフ間で話し合いをして送迎から帰宅した際に簡潔に伝える等で共有する。どうしても難しい場合で緊急性があるものはアプリの使用の検討とともに、翌営業日でのミーティングは継続して必須で行う。
3	地域との交流・保護者説明会などの周知不足	事業所で行う活動を優先しているため、地域との交流（保育園や学校等も含め）が行えていない。保護者説明会は毎年行ってはいるが周知不足になっているの考えられる。	事業所の活動だけに拘らずに地域の活動情報に目を配り、状況に応じて参加を検討する。保護者説明会等の行事ごとについては、SNSや案内等丁寧に行うように心がける。